

関係者各位

IRがもたらす福岡の未来都市デザイン

一般社団法人 福岡青年会議所

Index

1. 理事長挨拶

3P

2. 何故、IRが必要なのか

4～9P

3. IRとは

10～21P

4. 福岡IR構想について

22～25P

5. IRがもたらす福岡の未来都市デザイン

26～27P

IRがもたらす福岡の未来都市デザイン

Towards2035～2035年に向かって～

現在の福岡市は、人口が増加している数少ない都市であり、国家戦略特区の認定やクルーズ船寄港数1位、国際会議開催数2位など、国内でも有数の活力のあるまちであります。

しかしながら向こう15年を考えたとき、日本全体の傾向と同じく、人口減少、生産人口割合の著しい低下にともなう超少子高齢化社会の到来は避けられない現実があります。

そこで我々は、昨今、国内で頻繁に議論されている「IR(統合型リゾート)」というツールを使って、この福岡のまちをより元気に、より競争力の高い、そして何より、より住みよいまちにすることを考えました。

IRによって福岡のポテンシャルを開花させ、圧倒的な福岡時代を作るために。
福岡が真の「アジアのリーダー都市」になるために。
そして福岡の成長によって九州がさらに活性化していくために。

我々、福岡青年会議所は、ここに「IRがもたらす福岡の未来都市デザイン」を提言いたします。



PHASE2

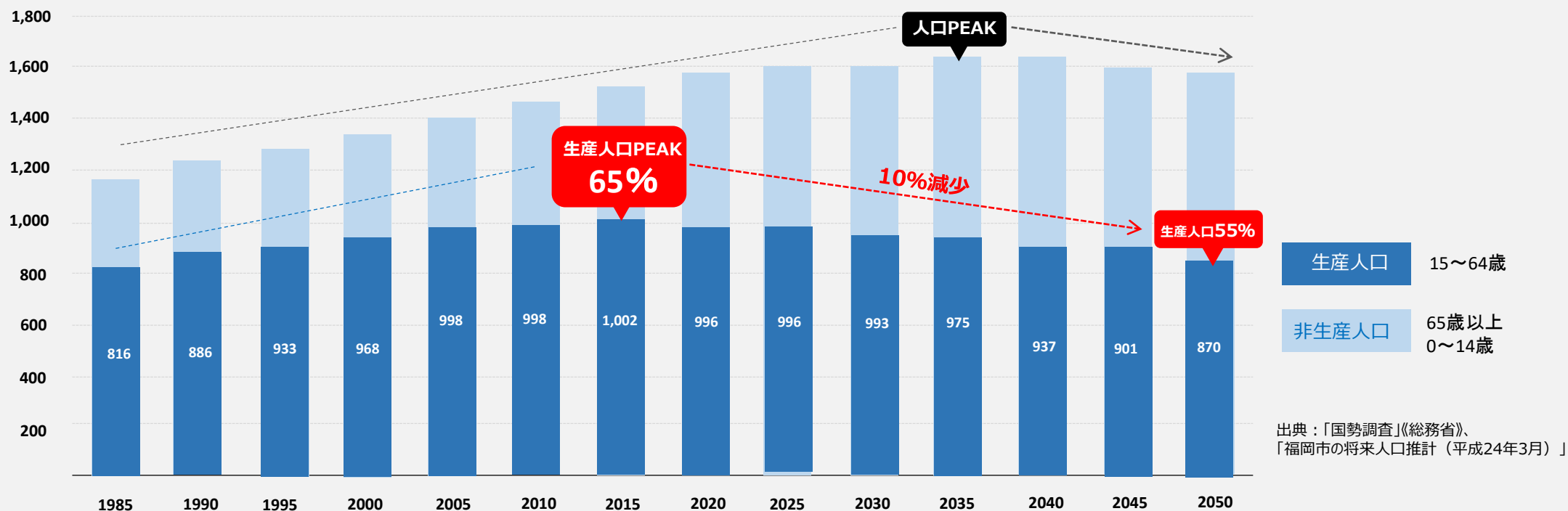
何故、IRが必要なのか？

「超少子高齢化社会」の到来

生産年齢人口が減る

2010－2015年の福岡市は政令都市の人口増加率1位。この流れは2035年まで続く見通し。
しかし、**生産年齢人口（15～64歳）**の比率は現在が最も高く（**65%**）であり、今後ゆるやかに減少していく。

(千人) Deta 福岡市の人口動態



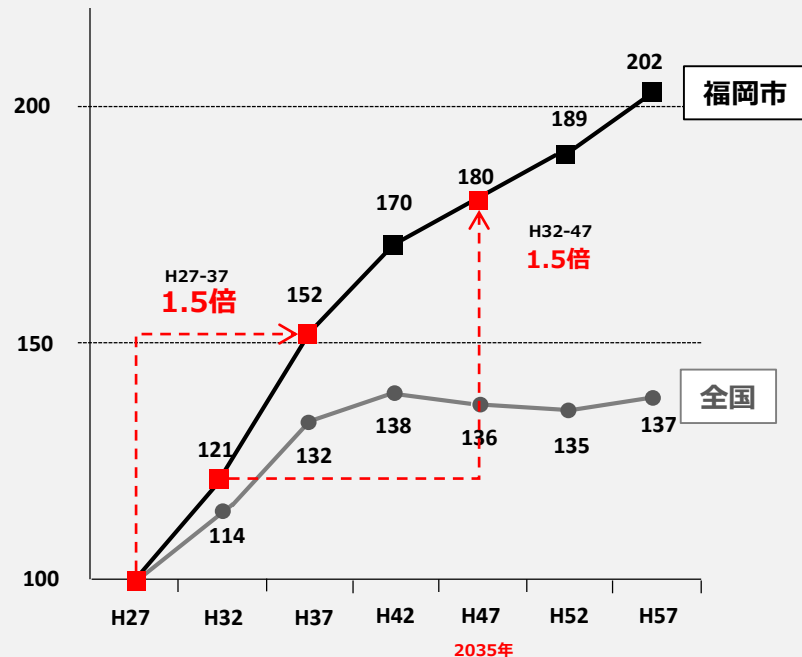
「超少子高齢化社会」の到来

高齢者は増える

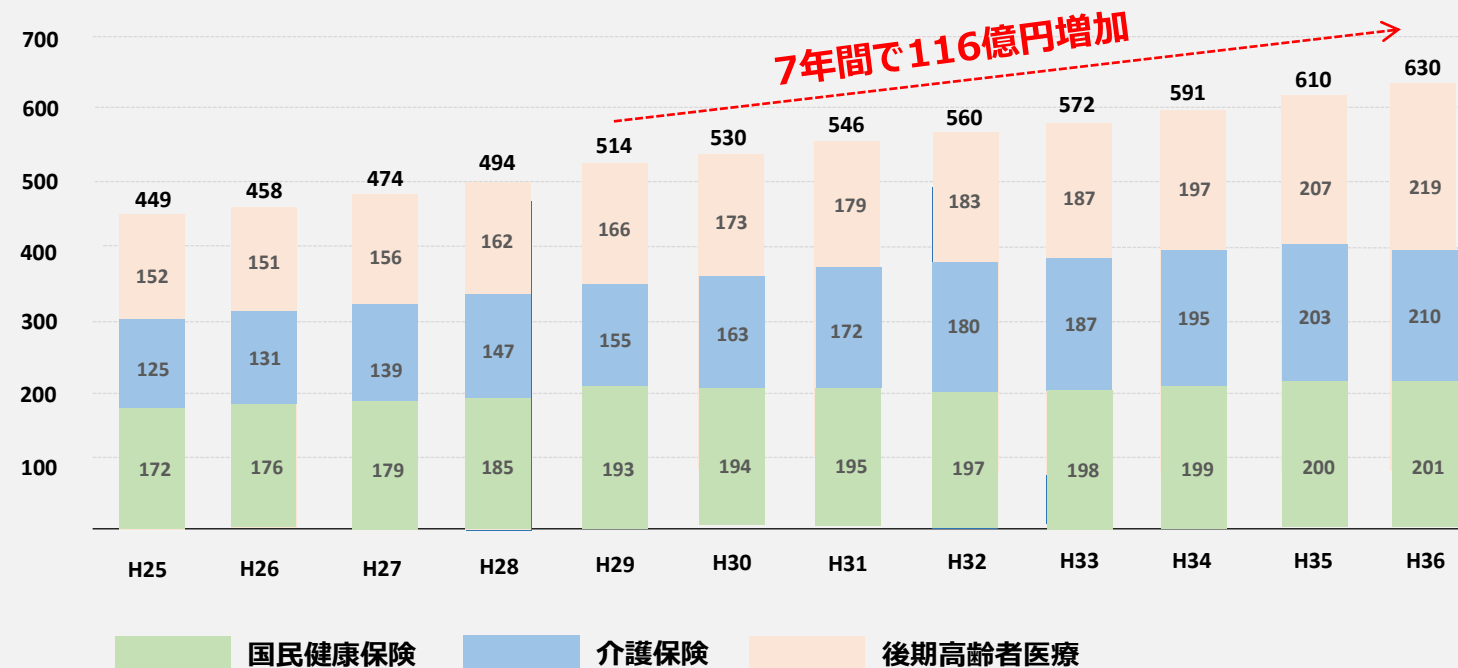
出典：「国勢調査」(総務省)、
「福岡市の将来人口推計（平成24年3月）」

後期高齢者の人口伸び率は全国に比して高く、
それに伴い後期高齢者医療や介護保険事業への公費負担は大幅に増加する

Deta 75歳以上人口の伸び率
(平成27年を100とした場合の伸び率の比較)



Deta 医療・介護保険への繰出金等の見通し（事業費ベース）



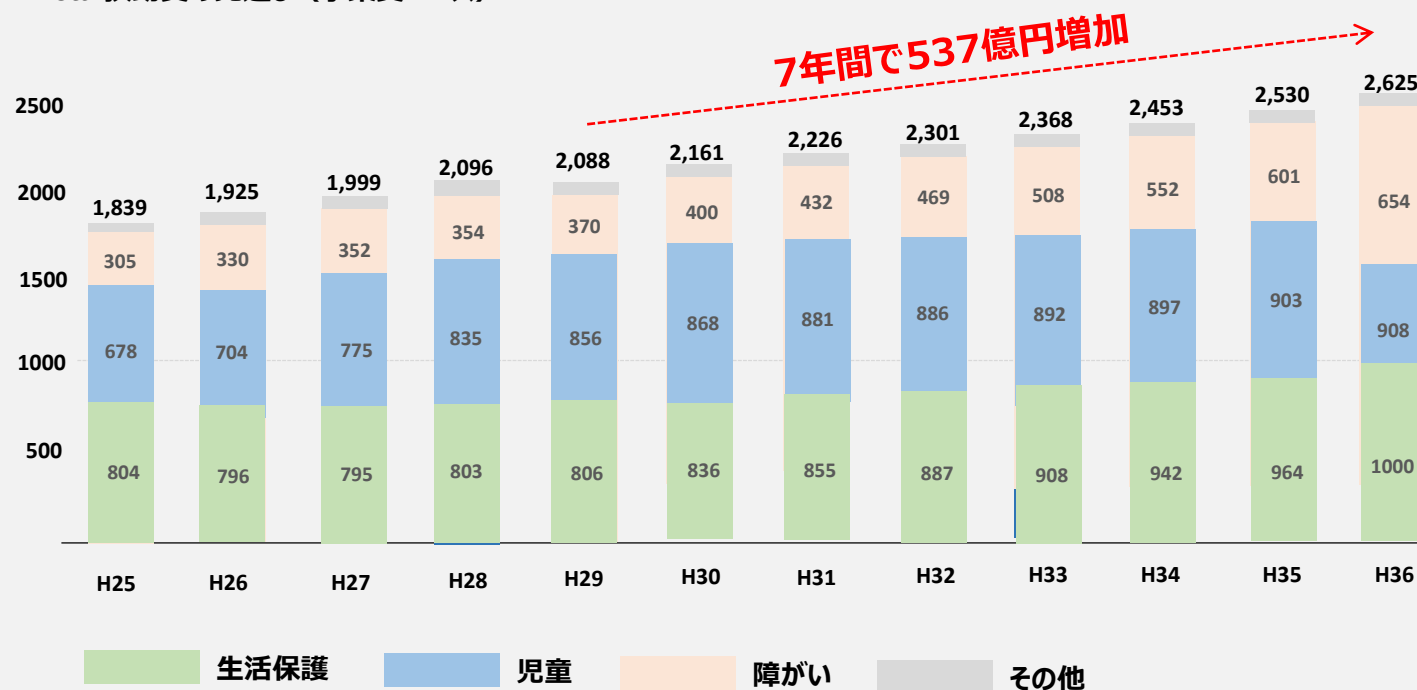
「超少子高齢化社会」の到来

扶助費も増える

出典：「国勢調査」(総務省)、
「福岡市の将来人口推計（平成24年3月）」

保育所等入所児童、生活ほぼ世帯、障がい者（児）福祉サービスの利用者が増加。
この傾向は続くと見込まれ、福祉サービスに必要な公費負担も大きく増加する見込み

Deia 扶助費の見通し（事業費ベース）



「超少子高齢化社会」の到来

生産年齢人口が減る

- 生産年齢人口は2015年をピークに年々減少していく見通し

高齢者は増える

- 後期高齢者【75歳以上】の増加率は全国に比して高い
- 7年間で医療・介護保険への繰出金等は116億円増加する見通し

扶助費も増える

- 扶助費はH29－36年の7年間で537億円増加する見通し

解決策は【社会保障費の削減】or【大幅な税収増加】だが、
その見通しは立っていない



成長している今だからこそ、

福岡らしい新たな成長エンジンの検討と創出が急務

福岡らしい、新たな経済成長のエンジンとは？
福岡の強みを活かし、課題を解決するもの

福岡市の強みを活かす

MICE・観光



- クルーズ船寄港数 全国1位
- 国際会議件数 全国2位

エンターテインメント



- スポーツが楽しめるまち 政令市中1位
- コンサート公演数 全国4位

文化(歴史・食)



- 山笠、旧市街地等の歴史
- 豊かで全国的認知の高い食文化

交通アクセス



- 空港乗降客数、発着回数 全国4位
- 空港から都心までのアクセス アジア1位



ハイグレードホテル

収益性の高いカジノ



日本版IR（統合型リゾート）

IRこそが福岡の特色を最大限に活かした
「超少子高齢化社会」に対する一番効果的な手法、最適解である。

PHASE3

IR とは？

日本版IRの構成要件

カジノ施設に加えて、以下の施設から構成される一群の施設であり、民間事業者により一体として設置運営されるもの。

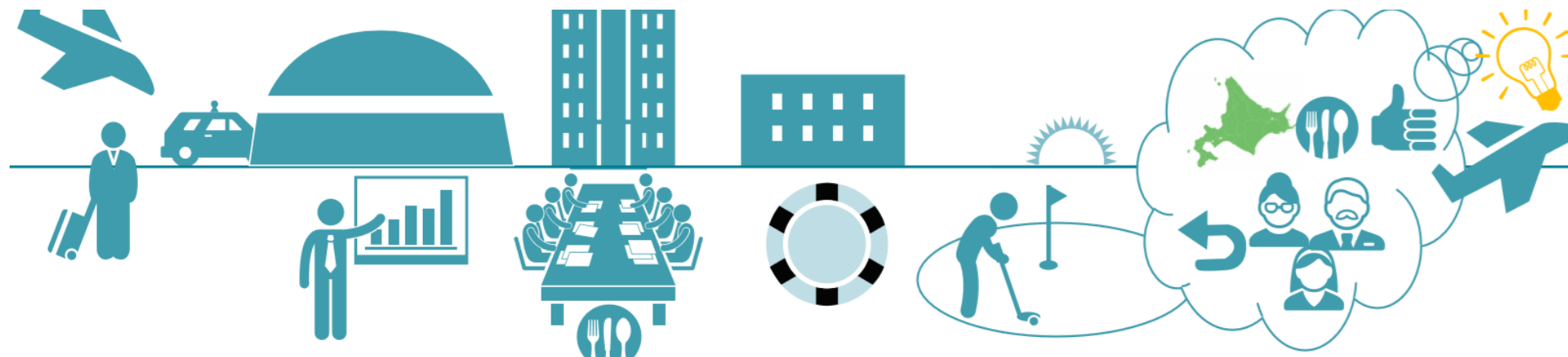
MICE施設①国際会議場

国際会議の誘致を促進し、及びその開催の円滑化に資する国際会議場施設であって、政令で定める基準に適合するもの。

IR
とは？

MICE施設②国際展示場

国際的な規模の展示会、見本市、その他の催しを円滑に開催するための施設であって、政令で定める基準に適合するもの。



文化関連施設

我が国の伝統、文化、芸術等を生かした公演その他の活動を行うことにより、我が国の観光の魅力の増進に資する施設であって、政令で定めるもの。

国内観光情報発信施設

我が国における各地域の観光の魅力に関する情報を適切に提供し、併せて各地域への観光旅行に必要な運送、宿泊その他のサービスの手配を一元的に行うことにより、国内における観光旅行の促進に資する施設。

ホテル・宿泊施設

利用者の需要の高度化及び多様化に対応した宿泊施設であって、政令で定める基準に適合するもの

IRについての証明事項

IRでのカジノの面積

日本型IRの基準

カジノ施設の専有面積

僅か **3%**

97%はカジノ以外の施設

- ・MICE施設（国際会議場・展示場）
- ・ホテル
- ・ショッピングモール
- ・劇場、ホールなどのエンターテインメント施設



収益は・・・

カジノの高い投資効率を背景に投資を呼び込み、
他の施設へ再投資し循環させていくビジネスモデル



負の影響の懸念と対策

ギャンブル依存症等の対策について

負の影響の懸念と対策について

IRは観光や地域経済の振興、財政への貢献など、様々なプラスの効果が期待される一方、IRを構成する施設の一つであるカジノに起因する懸念も指摘されている。こうした懸念事項に対して、適切な制度設計や規制を行うことによって影響を限定的なものとするため、諸外国においても様々な対策が講じられている。

(IRにより懸念される負の影響)

**ギャンブル
依存症**

**マネー
ロンダリング**

**地域環境への
悪影響**

**反社会的
勢力の関与**

＜諸外国における対策事例＞

ギャンブル依存症

▶ カジノ内におけるギャンブル依存症者の早期発見、自己／家族／強制排除プログラム、自国民に対する与信行為やカジノ内のATM設置禁止、入場料制度、国内でのカジノ関連広告規制、依存症対応教育の徹底、専門治療プログラムの提供など。

反社会的勢力の関与

▶ カジノライセンス取得のための背面調査及びカジノライセンス取得後の定期的な審査、カジノ施設内への監視カメラの設置と監視の義務付け、入場制限による犯罪組織・前科者、警察によって入場排除命令を下された者などをカジノ施設から排除するなど。

マネーロンダリング

▶ 本人確認・記録、保管、疑わしい取引があった場合の届出・保管義務、一定額以上の現金取引があった場合の報告義務、マネー・ロンダリング対策やテロ資金供与対策のためのプログラムの整備など。

地域環境への悪影響

▶ 地域の治安維持のための施策として、カジノ施設内での監視カメラの設置及び巡回、周辺地域における警官、警備員による24時間の警備体制など。

青少年への悪影響

▶ 未成年者のカジノ施設への入場禁止、未成年者入場時の通報、本人確認の徹底、未成年者と疑わしき者への声掛け、未成年者入場の通報、カジノ施設とその他施設の完全分離、広告規制など。

特に懸念されるギャンブル依存症対策に関しては、官民連携のもと領域を明確化し対策を図る。

	自治体・国の領域	事業者	民間団体
依存症患者	◆医療提供体制の整備 ◆人材の確保 ◆相談支援 ◆社会復帰の支援		
懸念がある人	◆実体調査 ◆調査研究の推進（依存症研究機関の設立）	◆相談窓口設置 ◆本人・家族申請による利用制限措置の導入・受入	◆相談窓口設置
娯楽としてギャンブルをする人 (大多数の層)	※国による規制 ◆ATM禁止、貸付規制等 ◆入場回数制限 ◆広告規制	◆事業者の依存症対策モニタリング ◆事業者の依存症対策提案の評価	◆従業員教育 ◆内部管理体制の整備 ◆啓発活動
ギャンブルをしない人	◆ギャンブル教育		

日本のIR誘致の状況_誘致の動きが活発化している自治体

選ばれるのは **最大3か所**

⑤佐世保市 / 長崎県



**「ユニーク・マリンIR」を掲げ
ハウステンボスもバックアップ。**

市内にあるテーマパーク「ハウステンボス」が30haをIR用地として提供することで基本合意。誘致の取組み開始も2007年からと最も早く、市民、行政の一体となって誘致を目指す。

④大阪市 / 大阪府



**「世界水準の成長型IR」を
理念に掲げるトップランナー**

大阪にIRを拠点とした国際観光拠点の形成を目指す。現時点で想定している事業規模は敷地面積約60ha、投資規模9,300億円で、年間売上は4,800億円を目指す。

③和歌山市 / 和歌山県



大阪との近接性をむしろ後押しに誘致本格化。

和歌山マリーナシティの23haを用地として想定。2018年11月の知事選では、IR推進を掲げる仁坂知事が80%の得票率で4選を果たしている。

①苫小牧市 / 北海道



**「WHITE IR」をコンセプトに
誘致活動を活発化。**

千歳空港から10分という好立地でありながら、900haという広大な用地を準備。北海道全体の観光活性化の切り札として誘致を進めているが、道民からの反対は根強く、早期の合意形成が課題となっている。

②横浜市 / 神奈川県



**山下ふ頭を候補地に、
市がIR誘致を正式表明**

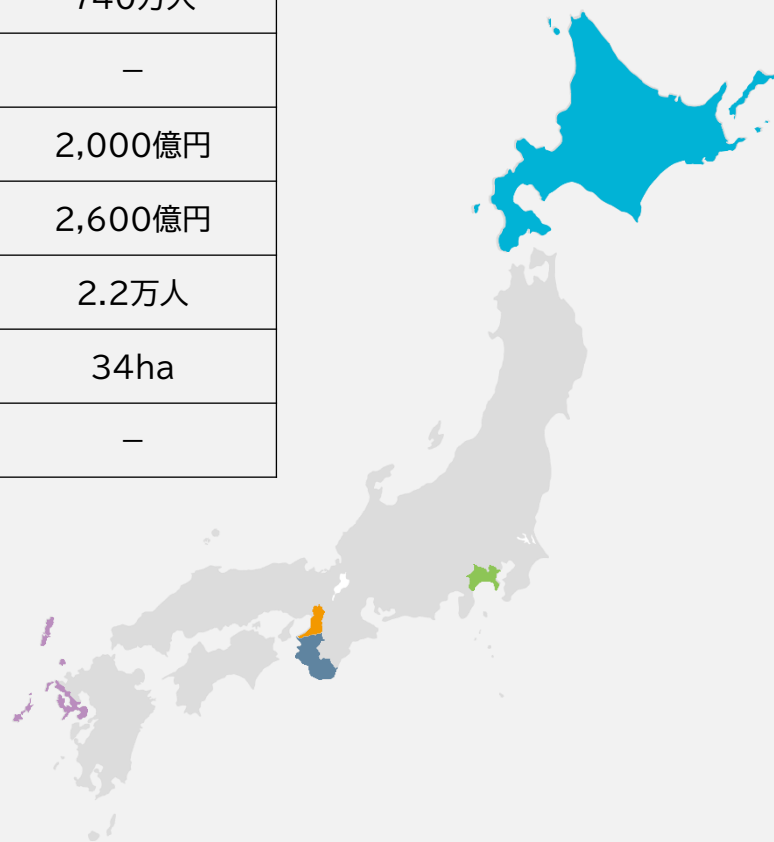
2019年8月に誘致を正式表明。観光消費の増加などの経済効果が見込めると判断した。市民や港湾関係者などからはギャンブル依存症や治安悪化などに対する懸念が強く、合意形成が課題となる。

※各自治体の情報は、2019年8月時点のもの

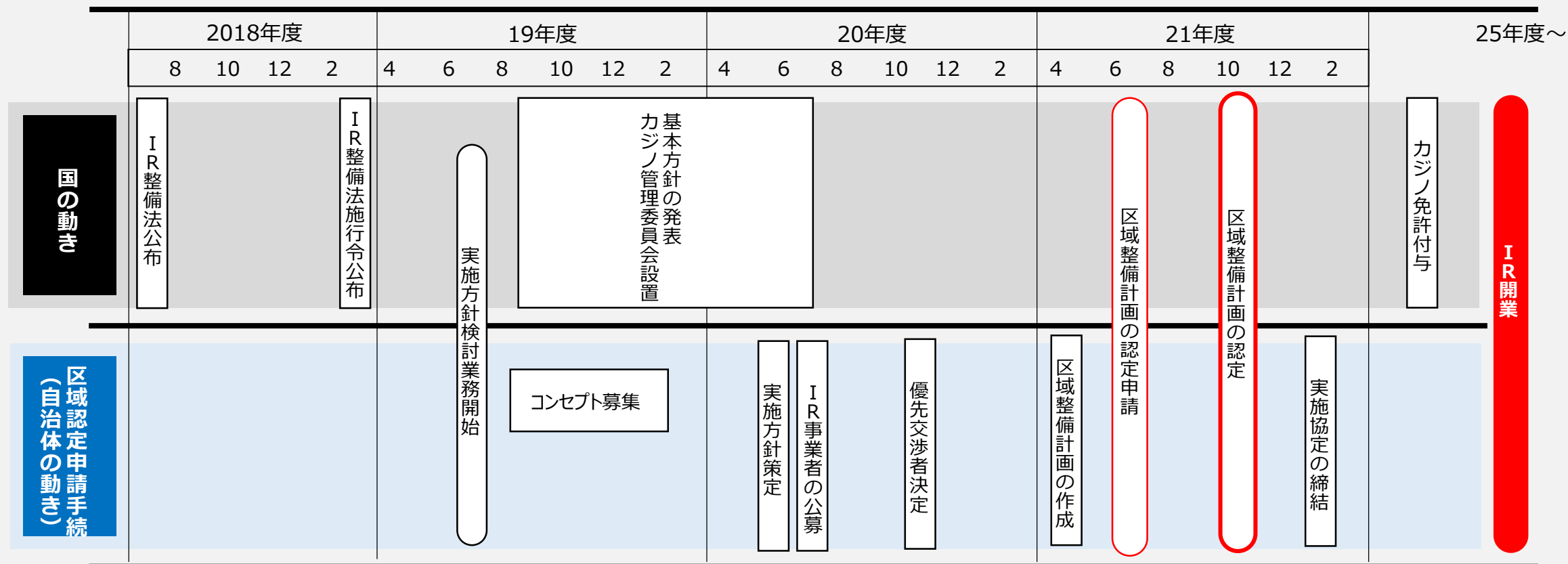
日本のIR誘致の状況_誘致の動きが活発化している自治体

□各自治体の試算一覧

	大阪	横浜	苫小牧	和歌山	佐世保
集客延人数／年	1,500万人	2,000～4,000万人	860万人	400万人	740万人
IR区域内の消費額	4,800億円	4,500～7,400億円	1,560億円	－	－
建設投資額	4,300億円	6,200億円	－	2,800億円	2,000億円
経済波及効果／年(運営)	6,900億円	6,300億円～1兆円	2,000億円	3,000億円	2,600億円
雇用創出効果／年(運営)	8.3万人	7.7万人～12.7万人	2.1万人	2万人	2.2万人
広さ	約70ha	47ha	200ha	20ha	34ha
地方自治体の増収効果	－	820～1,200億円	234億円	244億円+ α	－



日本版IR【第一回目】認定スケジュール



※第二回目の認定申請は約7年後の2028年を想定

シンガポール マリーナ・ベイ・サンズの事例

旅行消費額の変化と、公共政策としての効果

①旅行消費額の変化

②公共政策としての効果

外国人旅行消費額（エンタメ関連）

158億 ➤ **4586億**円
2,802%UP

MICE（国際会議）開催件数

689件 ➤ **850件**
23%UP

外国人旅行消費額

1兆円 ➤ **1.86兆**円
86%UP

BTMICE目的訪問人数

261万人 ➤ **377万人**
44%UP

MICE型IR

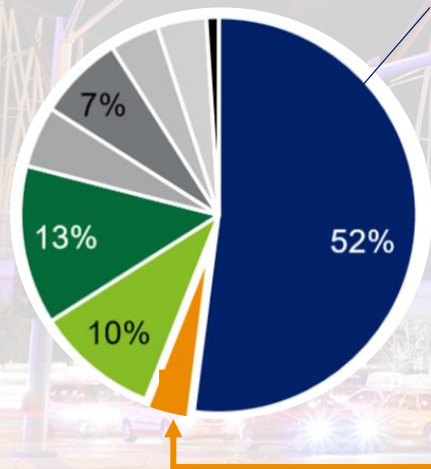
※BTMICE・・・MICEにbusiness travel を加えた表現

アメリカ合衆国 ラスベガスの事例

REAL IMAGE IR OF THE WORLD

世界のIR、その実像について

＜ラスベガス来訪目的の内訳＞



52% 娯楽・休暇

13% 友人・親戚の訪問

10% コンベンション・会議

7% **ギャンブル**

カジノ目的での来訪は1割に満たない

出展：LAS VEGAS CONVENTION AND VISITORS AUTHORITY, 2016 LAS VEGAS VISITOR PROFILE STUDY

エンター テイメント型IR

PHASE4

福岡IR構想

IR WITH THE KYUSYU

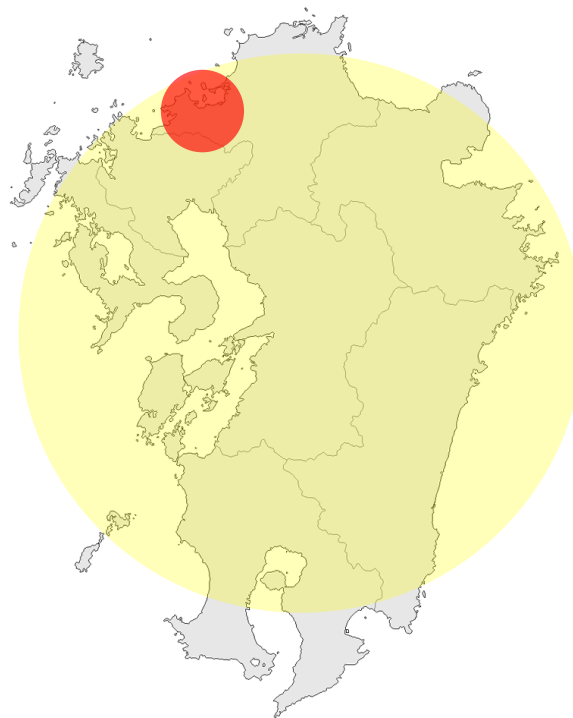
～地域シェア型IR～

福岡とIRの親和性



福岡にとってのIRとは現代版・鴻臚館

・福岡はアジアとの近接性により、古くから交流都市として栄え、鴻臚館の存在からも分かるように重要な国際交流の拠点だった。海外から多くの人を呼び込むIRはまさに「現代版・鴻臚館」
・IRによって既存のMICE、エンタメ、文化施設に相乗効果がもたらされ、福岡の交流都市としての機能がさらに強化される。



福岡と九州の関係性



九州との深い関わりにより成長した福岡

・福岡市は、九州との深い関わりを支えられ、九州とともに成長してきたまち。まさに福岡市の発展は、九州とともにある。陸海空すべての交通が揃う福岡が九州の玄関口としてIRによってさらに強くなることで、その波及効果を九州全体にしっかりともたらすことができる。

→ 福岡の交流機能の強化(地方創生)

+

九州全体への大きな波及効果

(福岡IRによる経済成長のシェア)

これこそが福岡にしかできない地方型IRの姿であり、福岡市を次なるステージへ導く象徴となる。

エリアの特徴、アクセス、用地確保可能面積等から下記の4エリアを候補地に



候補A 西戸崎～志賀島

金印との関わりが深く歴史的背景もあり、都市高速の延伸やモノレール新設等により交通アクセスの向上も比較的容易。福岡市街の夜景も対岸から見ることができ、景観的な強みもあり。



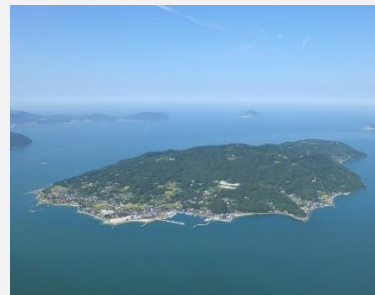
候補B 九州大学箱崎キャンパス跡地

約50haの広さを有し、筥崎宮などの歴史的施設も近接。交通アクセスは地下鉄箱崎線もあり良好。周辺市街地との調整や九州大学と福岡市が既に策定しているグランドデザインとの整合性が課題。



候補C 中央ふ頭

福岡市が策定しているウォーターフロントネクストとの親和性も高く、マリンメッセやクルーズセンターといった周辺施設との相乗効果にも期待。天神や博多駅からの近さも魅力。



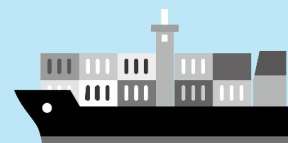
候補D 小戸～能古島

ヨットハーバーやマリノアシティとの連携も期待され、福岡タワーにも近い。能古島へは海路が既にあるが、IRを機に橋でつなぐことで能古島が福岡の新たな観光資源にもなることが期待される。

中央ふ頭設置イメージ具体案

中央ふ頭設置イメージ具体案（例）

IR WITH THE KYUSYU



365m

HOTEL

HOTEL



Water Square



Entertainment SPACE



SHOPPING MALL

クルーズ船
国際ターミナル

MICE

MICE

ART
Gallery

マリンメッセ福岡

MICE施設拡張エリア

- 国内最大規模のMICE施設を設置
- 国際基準は15万㎡（国内で最大は東京ビッグサイト8万㎡）

中央ふ頭

博多ふ頭

ベイサイドプレイス博多

クルーズターミナル
に近かい施設

市場所は未定

マリンメッセ福岡

ここ全体に広げる

IRの成立要件（施設）

- ・MICE施設（国際会議場・展示場）
- ・ホテル
- ・ショッピングモール
- ・劇場、ホールなどのエンターテインメント施設

福岡国際センター

福岡サンパレス

福岡国際会議場

交通広場・地下駐車場・ホテルなど

PHASE5

**IRがもたらす
福岡の未来都市デザイン**

福岡には従来より、マリンメッセ等のMICE施設、福岡ドーム等のエンターテインメント施設、美術館や博多座に代表される文化発信施設が既に整っている。そのなかでWFエリアにカジノを含むIRができれば、**福岡のまち全体が、ひとつの大きなIRとなり、福岡にさらなる経済成長をもたらしていく。**



**福岡IRを福岡市をさらに強くする新たな成長のエンジンにし、
地方型IRによる超少子高齢化社会解決のロールモデルを、
福岡がトップランナーとなって日本に、そして世界に示していく**

一般社団法人福岡青年会議所

理事長 岩木 勇人

副理事長 彌登 義明

FUKUOKA デザイン室 室長 山口 剛弘

未来都市デザイン委員会

委員長 戸嶋 太一

副委員長 徳本 光宏

拡大・総括幹事 城戸 一寿

運営幹事 本村 大

会計幹事 吉岡 寛昭

広報幹事 下山 英明

委員 左近 春香

委員 石川 貴浩

委員 大寄 康祐

委員 城戸 崇吉

委員 斎藤 健吾

委員 清水 一広

委員 豊島 知

委員 上原 慶介

委員 松本 大

発行日：2019年10月1日

発行：一般社団法人福岡青年会議所

〒812-0021 福岡市博多区築港本町13-6

ベイサイドプレイス博多 C 棟 3F

TEL：092-263-6333

FAX：092-263-6334

<http://www.fukuoka-jc.or.jp/>

編集：未来都市デザイン委員会

制作：松山 祐樹